

県政活動報告書



みんなの声を県政へ
茨城県議会議員

きよし
とつつか 潔



「人が輝くまちづくり」に全力で取り組んでいます！

皆様方には平素より外塚潔の県政活動につきまして、ご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。

外塚潔は、皆様のご支援により2019年1月8日県議会議員として三期目の初登壇を迎えました。新しい議員印章を授かり、再び責任の重さを感じると共に、ご支持を頂いたみなさまに感謝を申し上げます。これからも、県民一人ひとりが安全安心を実感できる生活環境の充実と向上に尽力して参ります。

昨年は、文教警察委員会、情報委員会委員として調査活動を進めてまいりました。

教育長関係では、「子どもたちの【社会を生き抜く力】の育成」をテーマとし、乳幼児からの教育や発達段階に応じた教育を学校・家庭・地域等が連携して行い、子どもたちの生きる力を育む方策について検討してまいりました。

また、これからの日本や世界をリードする人材の育成方策や、教員の働き方を見直すとともに資質能力の向上を図る方策等を調査してまいりました。具体的には、就学前教育の充実、家庭教育力の向上、道徳教育の充実や郷土教育の推進自然体験活動の充実、ITを活用した英語教育やプログラミング教育の推進、教員の働き方改革では業務改善の推進、外部人材の活用、教員研修の充実、教員のメンタルヘルス対策の充実などでありました。

警察本部関係は「飲酒運転の根絶と高齢者の交通事故抑止対策」について、各々の審査テーマを中心に県の取り組むべき施策について検討するとともに、その他所管事項についても調査活動を行ってまいりました。

更に、令和元年秋に開催される「第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体・第19回全国障害者スポーツ大会いきいき茨城ゆめ大会」を成功させるための環境づくりを図ってまいりました。

本年は、**総務企画委員会、茨城県議会ICT化検討会議委員**として、活動に取り組んでいます。

今年の総務企画委員会は【**地域間競争に打ち勝つ活力あるいばらきづくり**】を基本テーマに、「**地域資源の活用による活力あるいばらきづくり**」自転車や古民家、スポーツ資源を活用した地域活性化と茨城ブランド力の向上の取組み「**交通インフラを活用した活力あるいばらきづくり**」鉄道・バス・茨城空港を活用した活性化と地域振興の取組み「**ICTの活用による効率的な体制づくり**」RPAやAI導入による業務の効率化・省力化などについて、各々の審査テーマを中心に県が内外で取り組むべき施策について検討し、その他所管事項についても調査活動を行っております。

また、茨城県議会ICT化検討会議では、新しい試みとして、県議会においてもタブレット端末を導入して利活用を図るための調査を行っております。

茨城県庁内ではペーパーレス化が進み、議事堂以外でのIT化は進んでおりますが、本会議場でのICT活用方法について議論を重ねております。

今後も**霞ヶ浦を活かした地域の活性化、農林漁業の振興、子どもから高齢者まで安全安心な生活環境の充実、市内県道の歩道未整備箇所の解消と霞ヶ浦湖岸堤防強化整備工事**などをしっかりと進めてまいります。

平成31年第1回定例会で、通算7回目の一般質問を行いました。

今回の内容も「みんなの声を県政へ」という初心に沿い「人が輝くまちづくり」を実現するための事項を掲げました。

県政発展のため全力で取り組んでおりますが、初志貫徹、目標達成のためには、皆様方のさらなるご支援とご協力が必要でございます。今後もみんなの声を県政へ届け、確実に成果を上げるべく活動してまいりますので、皆様方には、倍旧のご指導ご鞭撻をいただけますようお願い申し上げます。

いきいき茨城ゆめ国体2019 第74回国民体育大会デモスポーツ大会



5月25日 ベタンク大会



8月31日 グラウンドゴルフ

茨城県議会議員 外塚 潔

平成31年第1回定例会一般質問

(平成31年3月6日)

● 一般質問の録画は以下のサイトからご覧になれます。茨城県議会・インターネット中継 <http://www.ibaraki-pref.stream.jfit.co.jp/>

1. つくばエクスプレスの県内延伸について



外塚議員質問

つくばエクスプレスの
県内延伸が実現すれば、

交通アクセスの飛躍的向上や県内の鉄道ネットワークの充実が図られ、延伸された地域の発展につながる。加えて、常磐線沿線など県内の他の地域の活力の向上にもつながる。

知事には、県が自ら茨城県民鉄道の事業主体となって延伸に乗り出していくぐらいの強い意気込みも期待するところであり、知事のリーダーシップで、必要な資金の確保やルートを選定、関係者との調整などに前向き、かつ具体的に取り組んでほしい。

県総合計画の2021年度までの計画期間内で、つくばエクスプレスの県内延伸にどのように取り組んでいくのか。



大井川和彦知事答弁



昨年11月に策定した県総合計画において、つくばエクスプレスの県内延伸について検討を進めるとともに、2050年ごろを展望した茨城のグランドデザインの中で、複数の延伸イメージを示したところである。

来年度、水戸・つくば間の交通ネットワーク強化のため、両都市間を結ぶ高速バス増便実証実験に取り組んでいくが、その結果等も参考にしつつ、資金の確保やルートなどを幅

広く検討を行い、県内延伸の実現に向けて、あらゆる可能性を模索しながら、しっかりと取り組んでいく。

県土を支える社会基盤

2050年頃の陸・海・空の交通ネットワーク



2. 霞ヶ浦二橋の整備について



外塚議員質問

霞ヶ浦二橋については、11市町村で、毎年、精力的に要望活動を実施しているが、**今後は、県とともに国へ要望することも必要である。**

霞ヶ浦二橋の整備が実現すれば、交通の利便性の向上に加え、地域の活性化や交流、定住人口の拡大が期待される。また、**災害発生時には、物資の輸送や県内外の住民の避難のための道路としても非常に重要な役割を果たす。**

霞ヶ浦の西浦にかかる唯一の橋である霞ヶ浦大橋について、鹿行地区と医療機関が集積する土浦、つくばをつなぐ命の道であると申し上げてきたが、霞ヶ浦二橋も**住民にとっては命の道である。**

霞ヶ浦二橋の整備について、今後どのように取り組んでいくのか。

政策企画部長答弁



新たな県総合計画の「**2050年頃の茨城の姿**」において、**霞ヶ浦二橋構想のおおよそのイメージを示した。**

また、新総合計画では、従来の5つの地域区分に加えて、産業構造や人口動態、将来の発展の方向性を勘案し、新たに11のゾーンを設定した。

今後の計画推進に当たっては、それぞれテーマを定めて、市町村と意見交換を行い、きめ細かな地域振興の方策を検討していく。霞ヶ浦二橋についても、このような場を活用して、**機運の醸成につなげていきたい。**

県としては、整備に要する莫大な費用や時間と、**利便性の向上や地域活性化、災害時の避難ルート**といった整備効果を比較しながら、地元市町村と知恵を出し合い、実現に向けて努力していく。

3. つくば霞ヶ浦りんりんロードについて

(1) 日本一のサイクリング環境の構築



外塚議員質問

平成28年第1回定例会で、タンデム自転車について公道全般を走行できるようにしてはどうかと提案した。

今年、茨城県道路交通法施行細則の改正についてのパブリックコメントが実施された。**改正の内容は、4月から、複数乗車（タンデム自転車含）による公道走行を可能にするものである。**

利用者の方々に安全に快適にタンデム自転車でのサイクリングを楽しんでほしい。かすみがうら市**交流センター周辺でレンタサイクルや体験教室を行うなど取り組みも考えられるのではないかと。**

つくば霞ヶ浦りんりんロードについて、今後どのように**日本一のサイクリング環境の構築**に向けて取り組んでいくのか。



政策企画部長答弁



かすみがうら市の**歩崎公園**では、**年間を通じた各種イベント**が開催されていることから、こうした**機会を捉えて、試乗会などを行ってきたい。**

レンタサイクルについては、土浦市内を発着として、広域レンタサイクルにタンデム自転車を配備する方向で検討を進めており、今後、その利用動向を踏まえながら、沿線地域に広げていくこととしたい。

つくば霞ヶ浦りんりんロードが、首都圏に近く、平たん走りやすいコースであることやその**サポート体制が充実していることなどを視覚障害者やパラスポーツ関係者にも幅広くPRすることなどを通じ、本県の観光振興や障害のある方々にも優しい県として、イメージアップにもつなげていきたい。**

3. つくば霞ヶ浦りんりんロードについて

(2) 県道桜川土浦潮来自転車道線の整備



外塚議員質問

県道桜川土浦潮来自転車道線のうち、霞ヶ浦湖岸の40キロメートルについては、**堤防上の既設の道路を拡幅して、新たに自転車道を整備**する計画だが、なかなか整備が進んでいない。今般、道交法施行細則が改正されると、**複数乗車によるタンDEM自転車の走行**も可能になる。

日本一のサイクリング環境を目指し、つくば霞ヶ浦りんりんロードの**ブランドイメージの向上**を図るには、ソフト面での対策に加え、自転車道の早期整備というハード面での対策が欠かせない。

霞ヶ浦湖岸の県道桜川土浦潮来自転車道線の整備の状況と今後見通しについて伺う。

土木部長答弁



土浦駅周辺から田村休憩所までの約1.8キロメートルについて整備を進めている。今年度までの整備により約1.1キロメートルが完了するので、残る約0.7キロメートルの整備を引き続き進めていく。

国道354号の霞ヶ浦大橋の橋詰では、国道を直接横断せずに、この下を抜ける市道を通じて安全に横断できるよう、**堤防から市道へおけるスロープの設置工事**を進めており、今月末には完了する予定である。

また、**かすみがうら市内の戸川橋**については、**湖岸に沿って新たに自転車と歩行者専用の橋を設置**することとしており、現在、河川管理者である国と協議を行いながら、地質調査や設計を実施している。



4. 霞ヶ浦の地域資源を活かした振興について



外塚議員質問

帆引き船が漁を行うための船であること、**観光客は乗船できないといった特徴は、意外に知られていない。**

知名度向上には、ムービーコンテストを実施し、優秀作品をインターネットで公開するなど、**動画によるPRも有効**ではないか。

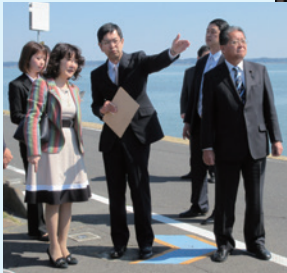
霞ヶ浦地域の観光誘客のこれまでの推進策と、今後どのように取り組んでいくのか伺う。

また、霞ヶ浦には、**11の漁港と150の船だまり**があり、ほとんどは市町村が管理している。**市町村と連携して、釣りやウォータースポーツなどに活用し、交流人口の拡大や地域の活性化につなげられないか。**

霞ヶ浦の地域資源を生かし、今後どのように地域の振興を図っていくのか。



片山さつき
地方創生大臣来浦
志戸崎地区調査活動



営業戦略部長答弁



帆引き船については、茨城の歴史をテーマに作成したパンフレットの中で、産業の近代化を示す資源として紹介したほか、県公式カレンダーに「**8月の顔**」として掲載した。

また、観光いばらきホームページ等の4K動画「絶景茨城」で発信しているほか、**テレビ広報番組「たくみにまなぶ」の中で「帆引網漁」の様子を紹介**するなど、霞ヶ浦地域の魅力を広く伝えてきた。

観光資源の磨き上げとしては、今年度、霞ヶ浦のサンセットクルーズ等を組み合わせたモニターツアーを実施した。

今後は、既存の動画のキャンペーンでの放映や自治体初の**公認バーチャルYoutuber「茨ひより」**などによるPRも含めて検討していく。

また、帆引き船のサンセットクルーズやライトアップ操業など、夜型観光の新たな魅力を組み合わせながら、引き続き旅行商品の造成を働きかけていく。

政策企画部長答弁



霞ヶ浦には隠れた地域資源がまだまだ数多く存在すると考えられる

ので、県総合計画の方針等も踏まえながら、さらなる地域資源の発掘に努め、その有効活用を図ることにより、霞ヶ浦周辺地域の振興を推進していく。

霞ヶ浦に多く所在する漁港や船だまりを拠点として多彩なレジャー等が行われることは、さらなる交流人口の拡大やイメージアップが期待される一方で、**市町村や漁業者等の理解が何よりも重要となるので、管理者である市町村や漁業関係者等の意向を十分に踏まえた上で、関係部局が連携を図りながら、活用の可能性について検討していきたい。**



5. サービス付き高齢者向け住宅と介護保険制度について



外塚議員質問

サービス付き高齢者向け住宅、いわゆるサ高住が、**高齢者が住みなれた土地で安心して生活できる住まい**となるためには、地域の方々の十分な理解を得ることが欠かせない。

訪問介護などを利用したいサ高住の入居者は、別途介護保険サービス事業所と契約することになる。

適正なサービスを提供していくことは、介護保険制度の安定的、持続的な運営のためにも極めて重要であり、**県が適切に指導監督していくことが、サ高住の入居者、介護保険サービスの利用者、ひいては全ての県民の安心につながる。**

サービス付き高齢者向け住宅の登録事業者及び介護保険サービス事業所に対し、県はどのように指導監督していくのか。



福祉担当部長答弁

昨年4月に茨城県高齢者居住安定確保計画を改定し、県独自に、地元市町村への事前協議や周辺住民に対する説明会の開催などを定めるとともに、事前に市町村長の意見を求めることとした。

サ高住の登録事業者に対する指導監督については、登録どおりのサービスを提供しているか、**県が定期的に立入調査を行い、不適切な内容については改善を求めている。**また、**介護保険サービス事業者に対しても、定期的に実地指導を行うとともに、不正請求などの疑いのある事業者に対しては、監査を行い、事実関係を調査の上、必要な是正措置を求めている。**



6. イノシシ等鳥獣被害対策について



外塚議員質問

県内の野生鳥獣による農作物などの被害は深刻化しており、先日夜間、かすみがうら市内でイノシシと遭遇した市民の方は大きな恐怖と不安を感じたと訴え、早期対策を要望された。

また、捕獲後、焼却処分などにより**廃棄されるイノシシをジビエとして利活用することは、被害軽減対策の有効な一手段となる。**

県が中心になって、被害軽減につながるあらゆる取り組みにチャレンジしてほしい。

イノシシなど野生鳥獣による被害対策にどのように取り組んでいくのか。



農林水産部長答弁

今年度は、**侵入防止施設の設置やイノシシの捕獲経費への補助**などの予算を拡充するとともに、新たに緩衝帯整備への補助などに取り組んでいる。

今後、鳥獣被害の軽減を図っていくためには、被害防止対策に主体的に取り組む地域をふやす必要があるので、平成31年度は、市町村等と連携して、**被害対策を推進する人材の育成や狩猟者の確保、効率的な捕獲方法の確立を進めていく。**

また、現在、**イノシシの処理加工施設を整備する意向を持った市町村があることから、出荷制限解除に向けた国との協議や、ジビエカーの導入を含め施設整備に向けた支援等を行っていく。**



7. 霞ヶ浦の儲かる水産業に向けた取り組みについて



外塚議員質問

霞ヶ浦の水産業については、地域の**基幹的な産業の名にふさわしい**収入と利益が得られる**儲かる産業**にしていくことが欠かせない。

昨年の第3回定例会で、水産試験場内水面支場について、**研究棟や魚類飼育実験棟の整備**を行う予算が成立した。

今後、**リニューアルされた水産試験場内水面支場が中心**となって、霞ヶ浦の水産資源のブランド化につながるような技術開発を行い、その技術を生かし、多くの関係者と連携しながら、霞ヶ浦の儲かる水産業の実現を果たしてほしい。

霞ヶ浦の儲かる水産業の実現に向け、今後どのように取り組んでいくのか。



農林水産部長答弁



ワカサギについては、漁期前の資源予測手法の高精度化などに取り組み、資源の保護を図りながら最大収益を得る操業が可能となるよう、漁業者への情報提供や助言等を行い、**経営の安定と収益性の向上**を図っていく。

コイ養殖については、乳酸菌をえさに活用することや**産卵時期のコントロール**など、**新たな養殖技術開発**に取り組み、生産コストの低減とともに、肉質の向上や子持ちコイの周年供給による単価向上を図っていく。

漁獲物の加工では、生食として人気の高い**シラウオ**について、**水産試験場で凍結品の技術開発を進め**、普及することにより、**漁期以外にも供給可能**とし、新たな販路開拓の支援などにより、知名度と収益の向上を図っていく。

8. 教員の機動的な配置について

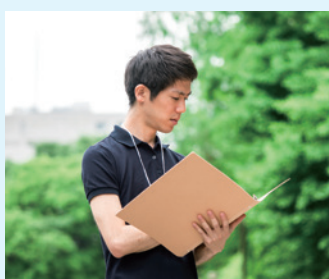


外塚議員質問

教員がある日突然、けがや病に襲われることはあり、**本人は元気でも、家族が倒れ、介護に当たらなくてはならない**といった事態も考えられる。

現在、教員のなり手不足が大きな課題となっており、教員は**長時間労働のブラックな仕事**というイメージが原因の一つだという声もある。働き方改革を進めるとともに、教員の突然の欠員に対応できるだけの仕組みを整えていくことが、**優秀な教員の確保**にもつながる。

年度途中の教員の欠員が生じた場合の対応について、現状と課題、今後の取り組みについて伺う。



教育長答弁



昨年度から、臨時的任用職員を希望する者の情報を県全域でデータベース化することで、効率的に情報を収集できるシステムを構築し、年度途中の任用に速やかに対応できるよう努めている。

育児休業者の代替については、来年度からは、**臨時的任用職員から任期付き教職員を任用すること**とした。これにより、教職員から育児休業が申請された際には、任期付き教職員選考試験に合格して**採用候補者名簿に登録された者**から任用できるため、時期を逸することなく代替者を確保できる。



2019年 活動報告



2018年9月16日世界湖沼会議サテライトかすみがうら調査活動



9月26日特別養護老人ホームふるさとでの消防訓練調査活動



10月15日第17回世界湖沼会議調査活動



12月15日雪ふれあいの里公園冬のクラフト市調査活動



2019年1月24日豊洲新市場調査活動



1月25日ワカサギ燻化事業調査活動



2月4日豊南農林・豊央農林要望活動



政策企画部長へ



知事へ



県議会議長へ陳情



2月14日総務企画委員会にて各部局の事業概要を問う



2月15日カスミらい福祉事業調査活動



土木部長へ要望



県議会議長へ要望

2月18日国道354号整備促進協議会要望



2月24日霞ヶ浦田村沖宿戸崎地区自然再生事業試験火入れ管理調査活動



3月14日総務企画委員会にてAI-RPA業務の効率化と茨城空港の利用状況を問う



3月18日都市計画道路「神立停車場線」開通式典調査活動



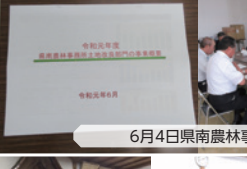
3月30日りんりんポート土浦オープニングセレモニー調査活動



5月9日霞ヶ浦田村沖宿戸崎地区自然再生事業春の自然観察会調査活動



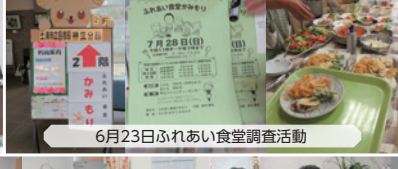
5月20日筑波大学国際産学連携本部調査活動



6月4日豊南農林事務所土地改良部門への要望活動



6月17日総務企画委員会にてドライブレコーダーの設置状況を問う



6月23日ふれあい食堂調査活動



6月23日運武館活動調査



6月26日流通経済大学スポーツ健康科学科調査活動



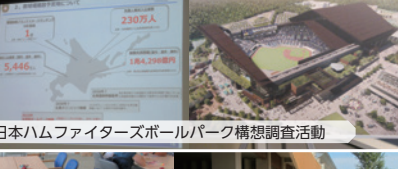
7月4日土浦土木事務所とヒアリング調査活動



7月6日つくば熱帯資源植物園調査活動



7月29日小樽商科大学グローバル戦略調査活動



7月30日日本ハムファイターズボールパーク構想調査活動



7月30日サイクル・ツーリズム北海道調査活動



8月24日霞ヶ浦環境科学センター調査活動



発行 / 茨城県議会議員 外塚 潔
 〒315-0055 かすみがうら市稲吉南3-14-20
 mail:totsuka.kiyoshi@poplar.ocn.ne.jp
<http://www.totsuka-kiyoshi.net>
 TEL 029-831-6880 FAX 029-831-6882

